



千葉県内に甚大な被害をもたらした台風15号は、国や千葉県の初動対応の遅れが問題とされました。

千葉県は現地への職員派遣を始めたのは発生4日目、災害に見舞われた自治体は停電や断水、避難所の設置などの対応に迫られて、自治体間の連携不足がありました。

千葉市は、市長がSNSなどで情報提供を行っていましたが、ネット環境が使えない高齢者には情報が届かず、被害の実態把握に時間を要し、住民への早期支援が届かなかったという市民の声が聞こえてきました。

私の施設は緑区にありますが、停電のために断水となり、トイレなどの生活用水が不足し苦慮しました。また、損壊した建物や設備は未だに修復できていない状況です。

地元の中小企業者でも屋根が損壊し、未だに雨が降るとブルーシートをかけながら事務作業をしているとの声も聴かれ、中には台風被害による倒産も懸念されているところです。

災害支援の状況・課題

今回、千葉市老施協ではLINEを活用した非常時連絡網が活用され、その有用性が実証されました。今後は、このように行政と各団体組織の連携による災害対応が重要になると思います。私自身は、支援者の災害ゴミのお手伝い、空き家を活用した被災住民の一時保護に協力させて頂きました。

三井みわこ 通信(令和元年秋号)

- 1971年 生まれ 千葉中央区登戸在中
- 2002年 NPO法人ハートケアゆーあい(障がい者の施設)設立
- 2003年 聖徳大学大学院 児童学研究科 修士課程修了
- 2006年 NPO法人政策塾 「一新塾」(熊谷市長と同期)卒塾
千葉県教育戦略ビジョン策定作業部会委員
- 2007年 社会福祉法人「白雪会」の理事に就任、軽費老人ホーム
「ほんだくらぶ」の運営に携わる
- 2008年 ちばCO2CO2ダイエット推進/県民会議委員
- 2010年 千葉市「新市民計画策定のための市民ワークショップ」
委員
- 2011年 千葉市議会議員初当選
- 2013年 都市建設委員副委員長
- 2015年 千葉市議会議員2期目当選
- 2018年 総務委員会副委員長



介護業界における人材不足の現状

今、現場で実感しているのが、介護人材不足に苦しんでいる施設が全体の6割ぐらい、訪問介護は施設よりもっと人材不足が深刻です。団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、各事業所の人手不足がさらに深刻化するとされています。介護業界の人材不足を解消するために必要な効果的な施策を考えなければいけません。

多くの介護事業所を悩ませる深刻な人手不足問題。その根底にあるのは、4K(きつい、汚い、危険、給料が安い)と呼ばれる介護業界に対するネガティブなイメージです。給料に関しては介護職員等特定処遇改善加算が2019年10月に実施されましたが、ベテラン介護職員のうち最低1名の賃金を月額8万円以上増やすか、年収を440万円以上にすることができた事業所に対して支給されます。この制度も加算を増やすには人手がなければ加算することが難しいと思います。介護職員に対する給料は準公務員並みに国が補助する制度ができればと考えます。

誰もが必要な時に必要なだけの介護サービス利用できるよう願います。

★三井みわこ後援会事務所★

TEL&FAX: 043-216-5432

三井みわこホームページ <https://www.mitsui-miwako.com/>

Eメール: mm@mitsui-miwako.com